

# 第1回「松原市観光写真コンクール」

## 入賞作品決定

松原市の観光の魅力をPRし、また地域の再発見をしてもらうことを目的に行いました第1回「松原市観光写真コンクール」について、審査の結果、下記のとおり入賞作品が決まりましたので発表します。今回は117点の応募がありました。  
問合せ 経済振興課

【市長賞】 「松原不思議発見」  
五軒矢玲香さん（堺市）



### ●写真批評

タイトルのとおり、おおいけ市民緑地にあるこの円形の石組みは何か不思議な感じがする場所ですね。

何気なく並んだこの石組みを写真作品に作り上げる作者はすばらしい感性をもっておられるか、あるいは美術教育を受けてこられた方でしょうか。

作者の力で絶妙に切り取られた写真は大変力強い構図の作品となりました。

画面の左から照らす太陽光線がこの石組みの表情をよく出しています。

一度行ってみたい空間ですね。

亀村 俊二(写真家)

【議長賞】 「神移し」  
山本和幸さん（丹南）



【審査員賞】 「迷い込んだら美。」  
岸田充三郎さん（天美東）



【金賞】 「近畿自動車道と阪神高速松原線」 河野信行さん（八尾市）  
「よさこい松原」 和田賢二さん（三宅中）

【銀賞】 「春の聖堂跡」 森下和彦さん（東新町）

「噴水のある池」 宮前篤美さん（上田）

「宴近し」 伊東世紀彦さん（三宅中）

「夜の主役達」 中條悦男さん（東新町）

「そら！行け！」 恒吉利幸さん（河合）

### ●審査にあたって

初めての「松原市観光写真コンクール」開催において数多くの作品の応募があったことに喜んでおります。

出品作品はどれも松原市への愛着心を感じさせる作品であり、祭りや行事などに市民がこぞって参加されていることがよく伝わってきました。

この写真展の審査を担当させていただくことになり、市民の方のお世話になって主だった史跡や町並みを見て廻りました。

社寺や古墳、そして松原市特有のため池など史跡の多

さに驚かされたのですが、池や河川を利用して作られた公園や施設、また市中のあちこちで出逢うすばらしい彫刻作品にはこころ和みました。

良い写真を撮るコツはものをよく見ることから始まります。よく観察しながら歩くと今までに気づけなかった風景やものと出逢えると思います。

ぜひ松原市の隅々までカメラを持って歩いてみてください。郷土の魅力の再発見がありますよ。

亀村 俊二(写真家)